

2012年3月

国際ジャーナリスト会議 2012
「東日本大震災とメディアの役割—内外メディアの視点」

公開シンポジウム開催のご案内

関係各位

外務省外務報道官 横井 裕

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度当省は、2012年3月23日(金)、「東日本大震災とメディアの役割—内外メディアの視点」をテーマとした、標記の公開シンポジウムを開催することとなりました(概要別紙のとおり)。

昨年3月11日、日本を襲った東日本大震災は、広範な地域に深刻な被害をもたらしました。地震に続いて大津波が海岸沿いの集落を襲い、多くの尊い命が失われたばかりか、東京電力福島第一原子力発電所の事故も発生しました。そして、東日本大震災から1年。この「国難」ともされる状況に、日本のメディアはどのような意識をもって対処してきたのか。外国メディアはどのように東日本大震災及び原発事故を報じてきたのか。大震災をめぐる内外の報道の問題点や限界、あるべき姿とは何か。大震災が提起した諸問題について、第一線で活躍する国内外のジャーナリストを迎えて、国際的な意見交換を行うのが、本会議の主たる目的です。

本会議では、インド、インドネシア、中国、韓国、米国、英国、ドイツ、及びカタールのメディアから8名、また我が国からは4名、合計12名のジャーナリストをパネリストとしてお招きし、それぞれの視点から内外の震災報道を検証し、復興過程におけるメディアの役割について議論を行います。

本シンポジウムを成功させるためにも、有識者各位のご協力を賜りたく、ご案内申し上げます。